SONY

Cyber-shot

デジタルスチルカメラ

取扱説明書

DSC-T50

「サイバーショット ハンドブック(PDF)」
もご覧ください。

CD-ROM
(付属)

本機の詳細な活用方法を説明しています。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。本書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

2-887-205-**01** (2)

お使いになる前に必ずお読みください

内蔵メモリーおよび"メモリースティック デュオ"のバックアップについて

アクセスランプ点灯中に電源を切ったり、バッテリーや"メモリースティック デュオ"を取り出したりすると、内蔵メモリーのデータや"メモリースティック デュオ"のデータが壊れることがあります。データ保護のため必ずバックアップをお取りください。

録画・再生に際してのご注意

- 本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。「使用上のご注意」もご覧ください(26ページ)。
- 必ず事前にためし撮りをして、正常に記録されていることを確認してください。
- 本機をぬらさないでください。水滴が内部に入り込むと、故障の原因になるだけでなく、修理できなくなることもあります。
- 日光および強い光に向けて本機を使用しないでください。故障の原因になります。
- 強力な電波を出すところや放射線のある場所で使わないでください。正しく撮影・再生ができないことがあります。
- 砂やほこりの舞っている場所でのご使用は故障の原因になります。
- 結露が起きたときは、結露を取り除いてからお使いください(26ページ)。
- 本機に振動や衝撃を与えないでください。誤作動したり、画像が記録できなくなるだけでなく、記録メディアが使えなくなったり、撮影済みの画像データが壊れることがあります。
- フラッシュの表面の汚れは取り除いてください。発光による熱でフラッシュ表面の汚れが変色したり、貼り付いたりすると、充分に発光できない場合があります。

液晶画面についてのご注意

液晶画面は有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。

画像の互換性について

- 本機は、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された統一規格"Design rule for Camera File system"(DCF)に対応しています。
- 本機で撮影した画像の他機での再生、他機で撮影/修正した画像の本機での再生は保証いたしません。

著作権について

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

撮影内容の補償はできません

万一、カメラや記録メディアなどの不具合により撮影や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。

表示言語について

本機のメニュー項目や警告などの表示は、日本語のみに対応しております。

⚠警告 安全のために

27～29ページも
あわせてお読みください。

誤った使いかたをしたときに生じる**感電や傷害など人への危害**、また**火災などの財産への損害**を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。

「安全のために」の注意事項を守る

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷がないか、電源プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

カメラやバッテリーチャージャーなどの動作がおかしくなったり、破損していることに気がついたら、すぐにテクニカルインフォメーションセンターへご相談ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら
煙が出たら

❶ 電源を切る
❷ 電池をはずす
❸ テクニカルインフォメーションセンターに連絡する

裏表紙に**テクニカルインフォメーションセンターの連絡先**があります。

⚠危険 万一、電池の液漏れが起きたら

❶ すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂のおそれがあります。
❷ 液が目に入った場合は、こすらず、すぐに水道水などきれいな水で充分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。
❸ 液を口に入れたり、なめた場合は、すぐに水道水で口を洗浄し、医師に相談してください。
❹ 液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。

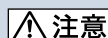
警告表示の意味

この取扱説明書や製品では、次のような表示をしています。

⚠危険

この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生します。

⚠警告

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

⚠注意

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、けがや財産に損害を与えることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

プラグをコンセントから抜く

指示

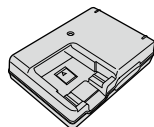
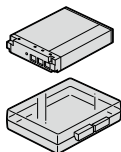
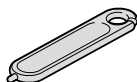
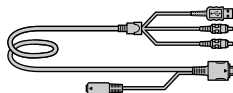
電池について

安全のためにの文中の「電池」とは、「バッテリーパック」も含みます。

準備する

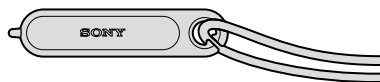
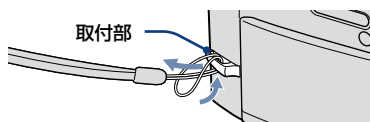
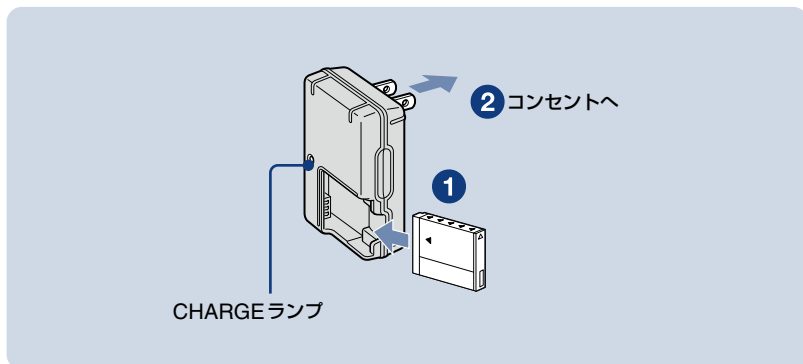
付属品の確認をしてください

万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。

- バッテリーチャージャー BC-CS3（1）

- リチャージャブルバッテリーパックNP-FR1（1）/
バッテリーケース（1）

- ペイントペン（1）

- マルチ端子専用USB・A/V・DC INケーブル（1）

- リストストラップ（1）

- CD-ROM（1）（サイバーショットアプリケーションソフトウェア/「サイバーショットハンドブック」）
- 取扱説明書（本書）（1）
- 保証書（1）

ペイントペンについて

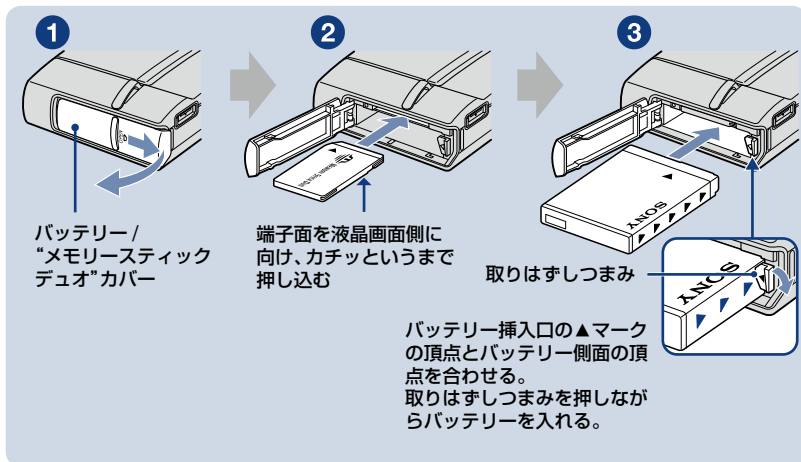
- 静止画に描き込みをするときに使います。
- ペイントペンは、図のようにリストストラップに取り付けることができます。
- ペイントペンを持って、本機を持ち運ばないでください。本機が落下するおそれがあります。

落下防止のため、リストストラップを取り付けてご使用ください。

準備1：バッテリーを準備する

1. バッテリーをバッテリーチャージャーに取り付ける。
2. 電源プラグを引き起こし、壁のコンセントに取り付ける。

CHARGEランプが点灯して、充電を開始します。
CHARGEランプが消灯すると、充電終了です（実用充電）。そのまま約1時間充電を続けると、若干長くバッテリーを使うことができます（満充電）。

充電時間

満充電	実用充電
約 350分	約 290分

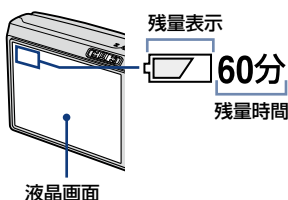
- バッテリー（付属）を使い切ってから、温度25℃の環境下で充電したときの時間です。使用状況や環境によっては、長くかかります。
- バッテリーチャージャーは、お手近なコンセントをお使いください。
- 充電が完了してCHARGEランプが消えても電源からは遮断されません。使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- 充電が終わったら、バッテリーチャージャーをコンセントから抜き、バッテリーをバッテリーチャージャーから取り出してください。

準備2：バッテリー/"メモリースティック デュオ"（別売）を入れる

1. バッテリー/"メモリースティック デュオ"カバーを開ける。
2. "メモリースティック デュオ"（別売）を入れる。
3. 挿入方向を確認してから、バッテリーを入れる。
4. バッテリー/"メモリースティック デュオ"カバーを閉じる。

"メモリースティック デュオ"を入れていないときは

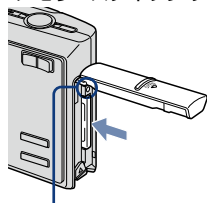
本体に内蔵されているメモリー（約56 MB）に画像を記録したり、再生したりします。

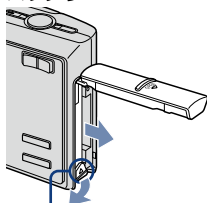
バッテリーの残量を確認するときは

レンズカバーを開けるか、POWERボタンを押して電源を入れ、液晶画面で確認する。

- 正しい残量時間を表示するのに約1分かかります。
- 使用状況や環境によっては、正しく表示されません。
- お買い上げ後、初めて電源を入れたときは、時計設定画面が表示されます（8ページ）。

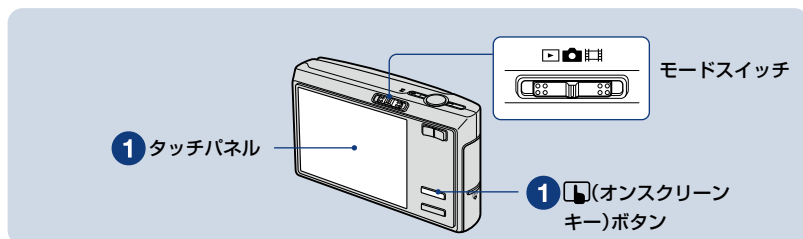
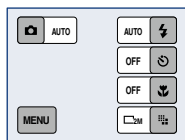
バッテリー/"メモリースティック デュオ"を取り出すときは

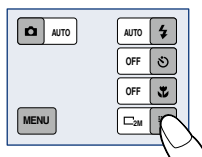
バッテリー/"メモリースティック デュオ"カバーを開いて取り出す。

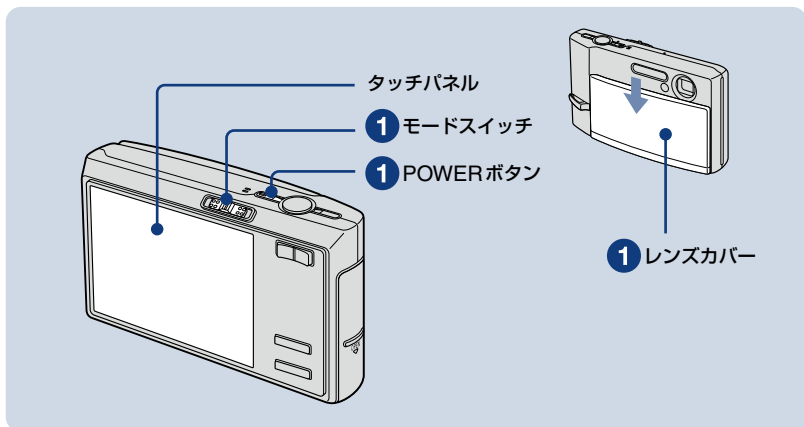
"メモリースティック デュオ"

アクセスランプが点灯していないことを確認して、"メモリースティック デュオ"を押す。

バッテリー

取りはずしつまみをずらす。

- バッテリーが落下しないようにご注意ください。
- アクセスランプ点灯中は取りはずさないでください。

準備3：タッチパネルを操作する

1 (オンスクリーンキー)ボタンを押して、タッチパネルのボタンを表示する。

- モードスイッチが「▶」のときは、この手順は不要です。

2 画面上のボタンを指で軽くタッチする(触れる)。

- タッチボタンのボタンを消すには、もう一度 (オンスクリーンキー)ボタンを押す。
- 設定したい項目がないときは、▲/▼をタッチしてページを変える。
- ⮌(リターンキー)をタッチすると、1つ前の画面に戻る。

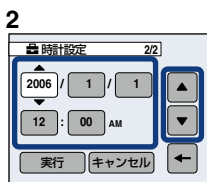
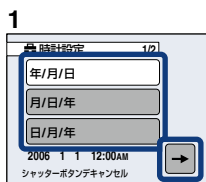
準備4：電源を入れ、時計を合わせる

1 モードスイッチを「📷」に合わせ、POWERボタンを押すか、レンズカバーを開ける。

2 画面上のボタンをタッチして、時計を合わせる。

1 希望の日付表示順にタッチして、→をタッチする。時計設定2/2画面になる。
2 設定する項目をタッチしてから、▲/▼をタッチして数値を設定する。
3 [実行]をタッチする。

1

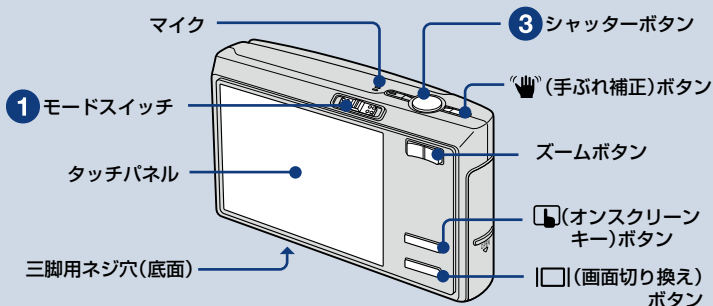
2

3

時計合わせをやり直すときは

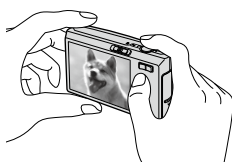
(セットアップ)画面で[時計設定]を選びます(16ページ)。

電源を入れたときのご注意

- 時計合わせをしないと、電源を入れるたびに時計設定画面が表示されます。
- バッテリー使用時に、電源を入れたまま約3分間動作しないと、バッテリーの消耗を防ぐために自動で電源が切れます(オートパワーオフ機能)。

撮影する

1 モードスイッチでモードを選ぶ。

静止画のとき:「📷」にする。
動画のとき:「🎞」にする。

2 脇を締めて構え、構図を決める。

被写体をフレーム中央部におさめる

3 シャッターボタンで撮影する。

静止画のとき:

1 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる。
緑の●(AE/AFロック表示)が点滅し、「ピピッ」という音がして、点灯します。

2 シャッターボタンを深く押し込む。

AE/AFロック表示

動画のとき:

シャッターボタンを深く押し込む。

録画を止めるには、もう一度シャッターボタンを深く押し込む。

W/T ズームする

ズームボタンを押す。

- レンズの倍率(3倍)を超えるとデジタルズームになります。
- 動画撮影中はズーム速度が遅くなります。

手ぶれ補正を行う

メニューの[ ](カメラ)が[オート]のときは常に手ぶれ補正が働いています。シャッターボタンを半押しして、 (手ぶれ補正)アイコンが表示されていることを確認してください。

オート撮影時以外:

(手ぶれ補正)ボタンを押すと解除されます。手ぶれ補正をオンにするには、もう一度押す。

下記の項目を設定するときは、 (オンスクリーンキー)ボタンを押して、項目を表示させてください。

フラッシュ(静止画のフラッシュモードを選ぶ)

画面の[ ]をタッチする。設定したい項目にタッチして、 をタッチする。

オート:

光量不足または逆光と判別したとき発光(お買い上げ時の設定)。

強制発光( )

スローシンクロ(強制発光)(SL):

暗い場所ではシャッタースピードを遅くし、フラッシュが届かない背景も明るく撮影。

発光禁止( )

セルフタイマーを使う

画面の[ ]をタッチする。設定したい項目にタッチして、 をタッチする。

10秒(10):セルフタイマーを10秒後に設定

2秒(2):セルフタイマーを2秒後に設定

切:セルフタイマー解除

シャッターボタンを押すと、セルフタイマーランプが点滅して「ピッピッピッ」と操作音が鳴り、撮影が開始されます。

マクロ/拡大鏡モード撮影(被写体に近接して撮る)

画面の[ ]をタッチする。設定したい項目にタッチして、 をタッチする。

マクロ( ):W側:約8 cm以上、T側:約25 cm以上

拡大鏡( ):W側固定:約1 ~ 20 cm

切:マクロ切

画像サイズを変える

画面の[ ]をタッチする。設定したい項目にタッチして、 をタッチする。

静止画のとき

画サイズ	推奨
7M	A3サイズまでのプリント
3:2	縦横比3:2での撮影
5M	A4サイズまでのプリント
3M	2L判サイズまでのプリント
2M	L判サイズまでのプリント
VGA VGA (Eメール)	Eメールでの送付など
16:9 16:9 (HDTVサイズ)	ハイビジョンTVでの鑑賞

動画のとき

画サイズ	推奨
FINE 640 640 (ファイン)	テレビでの鑑賞(高画質)
STD 640 640 (スタンダード)	テレビでの鑑賞(標準)
160 160	Eメールでの送付など

静止画のカメラモードを選ぶ

画面の[カメラ]をタッチする。設定したい項目にタッチして、↩をタッチする。

オート	カメラまかせで自動撮影する。
プログラム(P)	露出(シャッタースピードと絞り)は本機が自動設定する。それ以外の設定は、メニューで設定する。
シーンセレクション	あらかじめ撮影状況に合わせて用意された設定で撮影する。

シーンセレクション

ISO	高感度モード	暗いところでもフラッシュを使わずに撮影。
	夜景モード	夜の暗い雰囲気を損なわずに撮影。
	夜景&人物モード	夜景と手前の人物を同時に撮影するとき、人物を際立たせて撮影。
	ソフトスナップモード	人物の肌をきれいに撮影。
	風景モード	遠景にピントを合わせて撮影。
	高速シャッターモード	明るい場所で動きのある被写体を撮影。
	ビーチモード	海や湖などで水の青さを鮮やかに撮影。
	スノーモード	雪景色を明るく撮影。
	打ち上げ花火モード	打ち上げ花火をきれいに撮影。

写真の明るさを変える

[カメラ](カメラ)を[オート]以外にする。
画面の[露出補正]をタッチする。▲/▼をタッチして、補正値を選ぶ。

+値：画像が明るくなる
0EV：**本機が自動設定した露出**
−値：画像が暗くなる

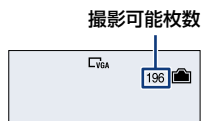
ピントを合わせる

[カメラ](カメラ)を[オート]以外にする。
画面の[F]をタッチする。設定したい項目にタッチして、↩をタッチする。

マルチAF	画面全体を基準に、自動ピント合わせする。
中央重点AF	画面中央付近の被写体に自動ピント合わせする。
スポットAF(フレキシブルスポットAF)	画面上の好きなところに測距枠を移動し、非常に小さな被写体や狭いエリアを狙ってピント合わせする。

静止画の撮影可能枚数と動画の記録可能時間

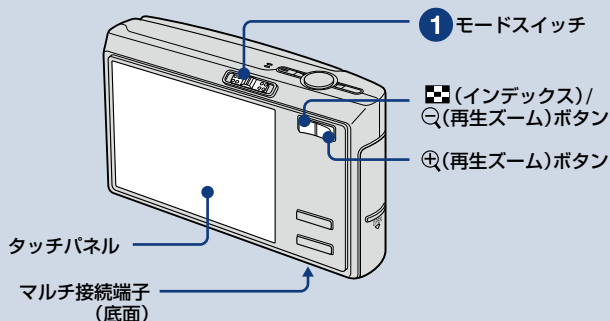
画像サイズを変えると静止画の撮影可能枚数と動画の記録可能時間が変わります。

静止画のとき

撮影可能枚数

動画のとき

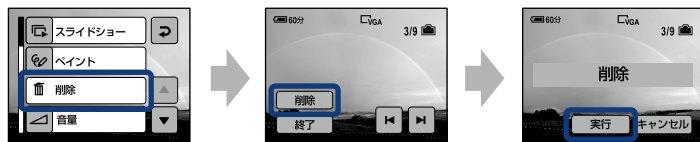
最大記録可能時間

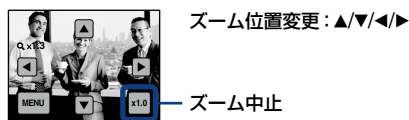
- 撮影可能枚数や記録可能時間は、撮影状況によって異なります。

再生する/削除する

1. モードスイッチを「▶」に合わせる。
2. ⏮(前)/⏭(次)で画像を選ぶ。

動画のとき： ▶をタッチする。
早送り・巻き戻し：⏪ ⏩(通常再生に戻るには▶)
音量調節：[MENU]→[音量]→＋/－で調節→[終了]の順にタッチする。
再生中止：■

削除する

削除したい画像を表示して、[MENU]→[削除]→[削除]→[実行]の順にタッチする。

再生ズーム(拡大して見るときは)

静止画を再生中に⊕ボタンを押すとズームできる。⊖ボタンで戻る。

ズーム位置変更：▲/▼/◀/▶

ズーム中止

インデックス(一覧表示)画面を使う

(インデックス)ボタンを押す。画像をタッチすると、シングル画面に戻る。◀/▶をタッチすると前後の画面に移動する。

(インデックス)ボタンをもう一度押すと12枚画面になります。

インデックス(一覧表示)画面で削除する

1 一覧表示中に[MENU]→[削除]→[選択]の順にタッチする。
2 削除したい画像にタッチして、(削除)マークを付ける。
3 [実行]→[実行]の順にタッチする。

スライドショー(連続再生)をする

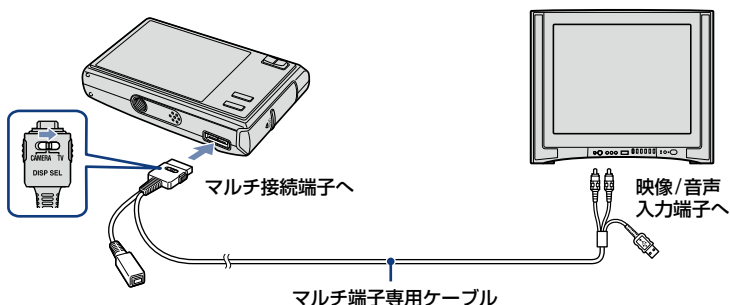
1 モードスイッチを「▶」にする。
2 [MENU]→[スライドショー]→[スタート]の順にタッチする。

キャンセルするには、画面をタッチして[終了]をタッチする。

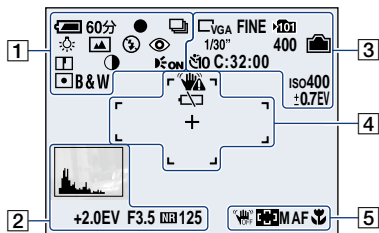
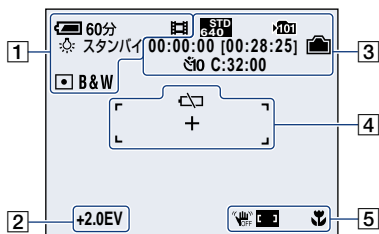
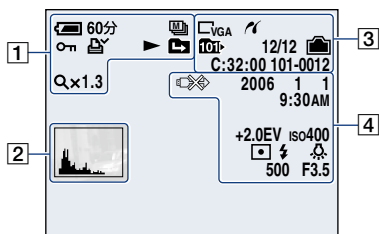
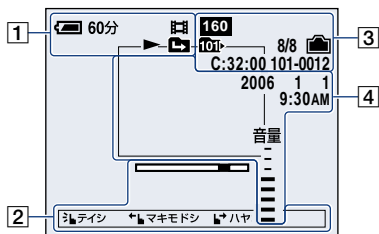
静止画に描き込みをする

1 モードスイッチを「▶」にする。
2 [MENU]→[ペイント]の順にタッチする。
3 ペイントペンを使って、画像に描き込みをする。

テレビで見る

1 付属のマルチ端子専用ケーブルでテレビと接続する。
2 マルチ端子専用ケーブルのスイッチを「TV」にする。

画面の表示

（画面表示切り換え）ボタンを押すたびに、液晶画面の表示が切り換わります。

静止画撮影時

動画撮影時

静止画再生時

動画再生時

1

60分	バッテリー残量
●	AE/AFロック
BRK	撮影モード
WB	ホワイトバランス
録画 スタンバイ	動画撮影/スタンバイ
P	カメラモード（プログラム）
ISO	カメラモード（シーンセレクション）
SL	フラッシュモード
	フラッシュ充電中
W T ×1.3 S P	ズーム
	赤目軽減
	シャープネス
	コントラスト
ON	AFイルミネーター
	測光モード
VIVID NATURAL SEPIA B&W	カラーモード
	プロテクト
	プリント予約マーク
×1.3	ズーム
コマ再生 12/16	コマ再生
►	再生
	フォルダ移動

2

(ヒストグラム)	ヒストグラム • 再生時、ヒストグラムが表示不能のときは⊗が表示されます。
+2.0EV	露出補正値
F3.5	絞り値
NR	NRスローシャッター
125	シャッタースピード
(再生バー)	再生バー
テイシ マキモドシ ハヤオクリ	操作ガイド

3

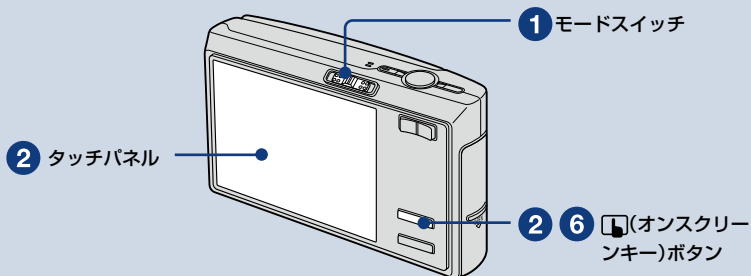
(PictBridge)	PictBridge接続
7M 3:2 5M 3M 2M 1M VGA 16:9 FINE 640 STD 640 160	画像サイズ
FINE STD	画質
101	記録フォルダ
101	再生フォルダ
(内蔵メモリー)	内蔵メモリー残量
(メモリースティック)	“メモリースティック”残量
00:00:00 [00:28:05]	記録時間[最大記録可能時間]
1/30”	マルチ連写インターバル
400	撮影残枚数
10 2	セルフタイマー
C:32:00	自己診断表示
ISO400	ISO感度
±0.7EV	ブラケット設定値
12/12	画像番号/再生フォルダ内画像枚数
00:00:12	カウンター

4

(手ぶれ警告)	手ぶれ警告
(バッテリー)	バッテリープリエンド
+	スポット測光照準
(AF測距枠)	AF測距枠
(PictBridge接続中)	PictBridge接続中
2006 1 1 9:30 AM	画像の記録日時
+2.0EV	露出補正値
ISO400	ISO感度
(測光モード)	測光モード
(フラッシュ)	フラッシュ
AWB ☀ ☁ WB	ホワイトバランス
500	シャッタースピード
F3.5	絞り値
(再生画像)	再生画像
音量	音量調節

5

ON OFF	手ぶれ補正
(AF測距枠表示)	AF測距枠表示
S AF M AF	AFモード
(マクロ/拡大鏡)	マクロ/拡大鏡モード撮影
1.0m	フォーカスプリセット値

設定を変更する―メニュー/セットアップ

1 モードスイッチを合わせる。

モードスイッチの位置やメニューの[(カメラ)]の設定によって、使用できる項目が異なります。

2 (オンスクリーンキー)ボタンを押し、タッチパネルのボタンを表示する。

- モードスイッチが「▶」のときは、この手順は不要です。

3 [MENU]をタッチし、メニューを表示する。

4 設定する項目をタッチする。

- 設定するメニュー項目がかくれている場合は、▲/▼をタッチして表示します。

5 希望の設定をタッチする。

6 (オンスクリーンキー)ボタンを押し、メニュー表示を消す。

セットアップを選ぶとき

(オンスクリーンキー)ボタンを長押しするか、手順4で(セットアップ)を表示させ、タッチする。

▲/▼をタッチし、設定したい項目を表示させ、変更したい設定項目をタッチする。

操作方法は16ページ

メニュー一覧

モードスイッチの位置や[カメラアイコン]（カメラ）の設定によって、使用できるメニュー項目が異なります。本機の画面には、使用できる項目のみ表示されます。

撮影時に使うメニュー

COLOR（カラーモード）	画像の鮮やかさを変えたり、特殊効果を加えて撮影する。
（測光モード）	画面のどの部分で光を測るか（測光）を設定する。
WB（ホワイトバランス）	撮影場所の光の状況に合わせて画像の色合いを調整する。
ISO	受光感度を調整する。
（画質）	静止画の圧縮率を設定する。
Mode（撮影モード）	連写を設定する。
BRK（ブラケット設定）	撮影モードでブラケット撮影を選んだときの露出を設定する。
（インターバル）	撮影モードでマルチ連写を選んだときの間隔を設定する。
（フラッシュレベル）	フラッシュの発光量を調節する。
（コントラスト）	撮影する画像の明暗の比（コントラスト）を変える。
（シャープネス）	撮影する画像の鮮鋭度（シャープネス）を変える。
（セットアップ）	各種設定

再生時に使うメニュー

（スライドショー）	スライドショー（連続再生）を設定する。
（ペイント）	静止画に描き込みをする。
（削除）	画像を削除する。
（音量）	音量を調節する。
（フォルダ）	再生したい画像の入っているフォルダを選ぶ。
（プロテクト）	画像を誤って消さないように保護（プロテクト）する。
DPOF	プリントしたい画像にプリント予約マーク（ ）を付ける。
（プリント）	PictBridge対応プリンターを接続して印刷する。
（リサイズ）	撮影した画像のサイズを変えて、新しいファイルとして記録する。
（回転）	静止画を左右に回転する。
（分割）	撮影した動画を分割したり、不要な部分を削除したりする。
（セットアップ）	各種設定
（トリミング）	再生ズームした画像を新しいファイルとして記録する。（再生ズームのときのみ）

操作方法は16ページ

セットアップ一覧

カメラ1

AFモード	自動ピント合わせ(オートフォーカス)の種類を選ぶ。
デジタルズーム	デジタルズームを設定する。
赤目軽減	フラッシュ撮影時、目が赤く写るのを抑制する。
AFイルミネーター	暗所でフォーカスを合わせやすくするための補助光を使う。

カメラ2

オートレビュー	静止画撮影直後に、記録した画像を約2秒間画面に表示する。
手ぶれ補正	手ぶれ補正の種類を選ぶ。

内蔵メモリー

フォーマット	内蔵メモリーをフォーマット(初期化)する。

メモリースティック

フォーマット	"メモリースティック デュオ"をフォーマット(初期化)する。
記録フォルダ作成	"メモリースティック デュオ"の中に新しいフォルダを作成する。
記録フォルダ変更	画像を記録するフォルダを変更する。
コピー	内蔵メモリーに記録した画像を"メモリースティック デュオ"に一括コピーする。

設定1

BGMダウンロード	スライドショーで使うBGMをダウンロードする。
BGMフォーマット	スライドショーで使うBGMをフォーマットする。

設定2

LCDバックライト	LCD(画面)バックライトの明るさを設定する(バッテリー使用時のみ)。
操作音	本機を操作したときに鳴るブザーを設定する。
設定リセット	お買い上げ時の設定に戻す。

設定3

ファイルナンバー	撮影画像のファイルナンバーの付けかたを設定する。
USB接続	本機とパソコンまたはPictBridge対応プリンターをマルチ端子専用ケーブルで接続するときのモードを設定する。
ビデオ信号出力	接続するビデオ機器のカラーテレビ方式に合わせて設定する。
時計設定	時計を設定する。

設定4

キャリブレーション	タッチパネルのボタンが反応する位置のずれを修正する。

パソコンを活用する

本機で撮影した画像をパソコンで見ることができます。
また、付属CD-ROMに収録されたソフトウェアを活用することができます。詳しくは、「サイバーショットハンドブック」をご覧ください。

USB接続時・「Picture Motion Browser」使用時の推奨環境

	Windowsをお使いの場合	Macintoshをお使いの場合
USB接続時	Windows Millennium Edition、Windows 2000 Professional、Windows XP Home Edition、Windows XP Professional	Mac OS 9.1/9.2、Mac OS X（v10.1 ～ v10.4）
「Picture Motion Browser」使用時	Windows Millennium Edition、Windows 2000 Professional、Windows XP Home Edition、Windows XP Professional	非対応

- 工場出荷時に上記いずれかのOSがインストールされている必要があります。
- USB接続が非対応の場合は、メモリースティックリーダーライター（別売）をお使いください。
- サイバーショットアプリケーションソフトウェア「Picture Motion Browser」の動作環境について詳しくは、「サイバーショットハンドブック」をご覧ください。

「サイバーショットハンドブック」を見る

Windowsをお使いの場合

1 パソコンの電源を入れ、CD-ROM（付属）を、CD-ROMドライブに入れる。
以下の画面が表示されます。

[サイバーショットハンドブック]ボタンをクリックすると、「サイバーショットハンドブック」をインストールする画面が表示されます。

2 画面の指示に従って、「サイバーショットハンドブック」をインストールする。

3 インストールが完了したら、デスクトップ上のショートカットから起動する。

Macintoshをお使いの場合

1 パソコンの電源を入れ、CD-ROM（付属）を、CD-ROMドライブに入れる。

2 "Handbook"フォルダーを開き、"JP"フォルダーの中の"Handbook.pdf"をコピーする。

3 コピーが完了したら、"Handbook.pdf"をダブルクリックする。

撮影/再生可能時間と枚数

バッテリー使用時間と撮影/再生枚数

下の表は撮影モードを[通常撮影]にし、満充電したバッテリー（付属）で温度25℃の環境で使用した場合の目安です。また、撮影/再生枚数は“メモリースティック デュオ”を交換しながら撮影/再生したときの目安です。ご使用の状況によって記載より少ない数値になる場合があります。

- 使用回数や経年変化により、バッテリー容量は低下します。
- 次のような場合は使用時間と撮影/再生枚数は、表示よりも少なくなります。
  - 周囲が低温のとき
  - フラッシュ多用時
  - 電源の入/切を繰り返したとき
  - ズームを多用したとき
  - LCDバックライトを明るくしているとき
  - [AFモード]が[モニタリング]のとき
  - [手ぶれ補正]が[常時]のとき
  - バッテリーの容量が低下したとき

静止画撮影時

撮影枚数	使用時間
約400枚	約200分

- 撮影時の数値は以下の設定で撮影した数値。
  - (画質)：[ファイン]
  - [AFモード]：[シングル]
  - [手ぶれ補正]：[撮影時]
  - 30秒ごとに1回撮影
  - 1回ごとにズームをW側、T側に交互にいっぱいにする
  - 2回に一度、フラッシュを発光する
  - 10回に一度、電源を入/切する
- 測定方法はCIPA規格による。
  （CIPA：カメラ映像機器工業会、Camera & Imaging Products Association）
- 画像サイズによって撮影枚数/使用時間が変化することはありません。

静止画再生時

再生枚数	使用時間
約7000枚	約350分

- 約3秒ごとにシングル画面で順番に再生した数値。

動画撮影時

使用時間
約180分

- 画像サイズが[160]で連続撮影した数値。

静止画の記録可能枚数と動画の記録時間

記録枚数/時間は撮影状況によって異なる場合があります。

- 画像サイズ・画質については、10ページをご覧ください。

静止画の記録枚数の目安（画質　上段：[ファイン]、下段：[スタンダード]）

（単位：枚）

容量 / サイズ	内蔵メモリー	本機でフォーマットした"メモリースティック デュオ"					
	約56MB	64MB	128MB	256MB	512MB	1GB	2GB
7M	16	18	37	67	137	279	573
	33	36	73	132	268	548	1125
3:2	16	18	37	67	137	279	573
	33	36	73	132	268	548	1125
5M	23	25	51	92	188	384	789
	43	48	96	174	354	723	1482
3M	37	41	82	148	302	617	1266
	67	74	149	264	537	1097	2250
2M	60	66	133	238	484	988	2025
	111	123	246	446	907	1852	3798
VGA（Eメール）	357	394	790	1428	2904	5928	12154
	892	985	1975	3571	7261	14821	30385
16:9（HDTVサイズ）	60	66	133	238	484	988	2025
	111	123	246	446	907	1852	3798

- 撮影モードが[通常撮影]のときの枚数。
- 静止画の撮影残枚数が9999枚より多いときは、「>9999」と表示されます。
- 撮影した画像サイズをあとで変更できます（[リサイズ]、18ページ）。

動画の記録時間の目安

（単位：時：分：秒）

容量 / サイズ	内蔵メモリー	本機でフォーマットした"メモリースティック デュオ"					
	約56MB	64MB	128MB	256MB	512MB	1GB	2GB
640（ファイン）	－	－	－	0:02:50	0:06:00	0:12:20	0:25:10
640（スタンダード）	0:02:30	0:02:50	0:05:50	0:10:40	0:21:40	0:44:20	1:31:00
160	0:42:40	0:45:30	1:31:30	2:51:20	5:47:00	11:44:20	24:18:20

- [640（ファイン）]は、"メモリースティック PRO デュオ"のみに記録できます。
- 当社の従来モデルで撮影した画像を再生すると、実際の画像サイズと異なって表示される場合があります。

故障かな？と思ったら

困ったときは、下記の流れに従ってください。

❶ 以下の項目をチェックする。また、「サイバーショットハンドブック（PDF）」も参照し、本機を点検する。

画面に「C/E：□□：□□」のような表示が出たときは、「サイバーショットハンドブック」をご覧ください。

❷ バッテリーを取りはずし、約1分後再びバッテリーを入れ、本機の電源を入れる。

❸ 設定リセットをする（19ページ）。

❹ サイバーショットオフィシャルWEBサイトのホームページで確認する。

http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

❺ テクニカルインフォメーションセンターに電話で問い合わせる（裏表紙）。

- **内蔵メモリーやBGM機能を搭載した機種を修理に出した場合、それらの内容を確認させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。**

バッテリー・電源

本機にバッテリーを入れられない。

- バッテリー取りはずしつまみを押しながら、正しい向きに入れる（6ページ）。

バッテリーカバーがきちんと閉まらない。

- バッテリーが正しい向きで入っていないとバッテリーカバーがきちんと閉まりません。バッテリーカバーの根元を押さえながら、一度手前に引いて開け、バッテリーが正しい向きに入っているか確認してください。

電源が入らない。

- バッテリーが正しく取り付けられているか確認する（6ページ）。
- バッテリーが消耗しています。充電されたバッテリーを取り付ける（5ページ）。
- バッテリーの寿命です。新しいバッテリーと交換する。
- 推奨バッテリーをお使いください（4ページ）。

電源が切れる。

- 操作しない状態が3分以上続くと、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れる。電源を入れ直す（8ページ）。
- バッテリーの寿命です。新しいバッテリーと交換する。

バッテリーの残量表示が正しくない。

- 温度が極端に高いまたは低いところで使用しているときの現象です。
- 残量表示と実際の残量にズレが生じています。バッテリーを一度使い切ってから充電すると正しい表示に戻ります。
- バッテリーが消耗しています。充電されたバッテリーを取り付ける（5ページ）。
- バッテリーの寿命です。新しいバッテリーと交換する。

静止画 / 動画を撮る

撮影できない。

- 内蔵メモリーまたは"メモリースティック デュオ"の空き容量を確認する（23ページ）。いっぱいのときは、下記のいずれかを行う。
  - 不要な画像を削除する（12ページ）。
  - "メモリースティック デュオ"を交換する。
- "メモリースティック デュオ"の誤消去防止スイッチを解除する。
- フラッシュ充電中は撮影できません。
- 静止画撮影時は、モードスイッチを「📷」にする。
- 動画撮影時は、モードスイッチを「🎞」にする。
- 動画撮影時、画像サイズが[640（ファイン）]になっているときは、下記いずれかを行う。
  - 画像サイズを[640（ファイン）]以外にする。
  - "メモリースティック PRO デュオ"を入れる。

撮影日時を画像に挿入できない。

- 本機には画像に日付を挿入する機能はありません。プリント時には日付を入れて印刷することができます。

画像を見る

再生できない。

- パソコンでフォルダ/ファイルの名前を変更したためです。
- パソコンで画像を加工したファイルや、本機以外で撮影した画像は本機での再生は保証いたしません。
- USBモードになっています。USB接続を終了する。

使用上のご注意

使用/保管してはいけない場所

- 異常に高温、低温、または多湿になる場所
  炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 直射日光の当たる場所、熱器具の近く
  変色したり、変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動のある場所
- 強力な磁気のある場所
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

持ち運びについて

ズボンやスカートの後ろポケットに本機を入れたまま、椅子などに座らないでください。故障や破損の原因になります。

お手入れについて

液晶画面をきれいにする

液晶画面に指紋やゴミが付いて汚れたときは、液晶クリーニングキット(別売)を使ってきれいにすることをおすすめします。

レンズをきれいにする

レンズに指紋やゴミが付いて汚れたときは、柔らかい布などを使ってきれいにすることをおすすめします。

表面をきれいにする

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、からぶきします。本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、以下はご使用にならないでください。

- シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、日焼け止め、殺虫剤のような化学薬品類
- 上記が手についたまま本機を扱うこと
- ゴムやビニール製品との長時間の接触

動作温度にご注意ください

本機の動作温度は約0℃～40℃です。動作温度範囲を越える極端に寒い場所や暑い場所での撮影はおすすめできません。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部や外部に水滴が付くことです。この状態でお使いになると、故障の原因になります。

結露が起きたときは

電源を切って結露がなくなるまで約1時間放置し、結露がなくなってからご使用ください。特にレンズの内側に付いた結露が残ったまま撮影すると、きれいな画像を記録できませんのでご注意ください。

内蔵の充電式バックアップ電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切に関係なく保持するために充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機を使用している限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し1か月程度まったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使用してください。ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使うことができます。

内蔵の充電式バックアップ電池の充電方法

本機に充電されたバッテリーを入れるか、ACアダプター（別売)を使ってコンセントにつないで、電源を切ったまま24時間以上放置する。

"メモリースティック デュオ"を破棄/譲渡するときのご注意

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、"メモリースティック デュオ"内のデータは完全には消去されないことがあります。破棄/譲渡の際は、"メモリースティック デュオ"本体を物理的に破壊するか、市販のパソコンによるデータ消去専用ソフトなどを使って"メモリースティック デュオ"内のデータを完全に消去することをおすすめします。

安全のために

→ 3ページもあわせてお読みください。

下記の注意事項を守らないと、**火災**、**大けが**や**死亡**にいたる危害が発生することがあります。

分解や改造をしない

分解禁止

火災や感電の原因となります。内部点検や修理はテクニカルインフォメーションセンターにご依頼ください。

内部に水や異物（金属類や燃えやすい物など）を入れない

禁止

火災、感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池を取り出してください。ACアダプターやバッテリーチャージャーなどもコンセントから抜いて、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

運転中に使用しない

禁止

自動車、オートバイなどの運転をしながら、撮影、再生をしたり、液晶画面を見ることは絶対おやめください。交通事故の原因となります。

撮影時は周囲の状況に注意をはらう

禁止

周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。

指定以外の電池、ACアダプター、バッテリーチャージャーを使わない

禁止

火災やけがの原因となることがあります。

機器本体や付属品、記録メディアは乳幼児の手の届く場所に置かない

禁止

電池などの付属品や"メモリースティック"などを飲みこむおそれがあります。乳幼児の手の届かない場所に置き、お子様がさわらぬようご注意ください。万一飲みこんだ場合は、直ちに医師に相談してください。

電池やショルダーベルト、ストラップを正しく取り付ける

指示

正しく取り付けないと、落下によりけがの原因となることがあります。
また、ベルトやストラップに傷がないか使用前に確認してください。

電源コードを傷つけない

禁止

熱器具に近づけたり、加熱したり、加工したりすると火災や感電の原因となります。また、電源コードを抜くときは、コードに損傷を与えないように必ずプラグを持って抜いてください。

可燃性/爆発性ガスのある場所でフラッシュを使用しない

禁止

フラッシュ、AFイルミネーターなどの撮影補助光を至近距離で人に向けない

禁止

- 至近距離で使用すると視力障害を起こす可能性があります。特に乳幼児を撮影するときは、1m以上はなれてください。
- 運転者に向かって使用すると、目がくらみ、事故を起こす原因となります。

⚠注意

下記の注意事項を守らないと、**けが**や**財産に損害**を与えることがあります。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない

火災や感電の原因になることがあります。

ぬれた手で使用しない

感電の原因になることがあります。

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所に置いたり、不安定な状態で三脚を設置すると、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

コード類は正しく配置する

電源コードやパソコン接続ケーブル、A/V接続ケーブルなどは、足に引っ掛けると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。

通電中のACアダプター、バッテリーチャージャー、充電中の電池や製品に長時間ふれない

禁止

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

使用中は機器を布で覆ったりしない

熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源をはずす

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントからはずしたり、電池を本体からはずして保管してください。火災の原因となることがあります。

フラッシュの発光部を手でさわらない

フラッシュ発光部を手で覆ったまま発光しないでください。発光後も発光部に手を触れないでください。やけどの原因となります。

レンズや液晶画面に衝撃を与えない

レンズや液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

電池や付属品、記録メディア、アクセサリーなどを取りはずすときは、手をそえる

電池や"メモリースティック"などが飛び出すことがあり、けがの原因となることがあります。

⚠危険 **電池についての安全上のご注意とお願い**

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがややけど、火災などを避けるため、下記の注意事項をよくお読みください。

⚠危険

- 乾電池型充電式電池・バッテリーパックは指定されたバッテリーチャージャー以外で充電しない。
- 電池を分解しない、火の中へ入れない、電子レンジやオーブンで加熱しない。
- 電池を火のそばや炎天下、高温になった車の中などに放置しない。このような場所で充電しない。
- 電池をコインやヘアーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 電池を水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水などの液体でぬらさない。ぬれた電池を充電したり、使用したりしない。

⚠警告

- 電池をハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下させたりするなどの衝撃や力を与えない。
- アルカリ電池/ニッケルマンガン電池は充電しない。
- 外装シールをはがしたり、傷つけたりしない。外装シールの一部または、すべてをはがしてある電池や破れのある電池は絶対に使用しない。

⚠注意

指示

- 電池は、+、−を確かめ、正しく入れる。
- 電池を使い切ったときや、長時間使用しない場合は機器から取り出しておく。

禁止

- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池は混ぜて使わない。

お願い

リチウムイオン電池とニッケル水素電池はリサイクルできます。不要になったこれらの電池は、金属部分にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

リチウムイオン電池

ニッケル水素電池

充電式電池の収集・リサイクルおよびリサイクル協力店については

有限責任中間法人JBRC ホームページ
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html
を参照してください。

保証書とアフターサービス

記録内容の補償はできません

万一、デジタルスチルカメラや"メモリースティック デュオ"などの不具合などにより記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書は国内に限られています

このデジタルスチルカメラは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

"故障かな？と思ったら"の項を参考にして故障かどうかお調べください。それでも具合の悪いときはテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください（裏表紙）。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の交換について

この商品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

部品の保有期間について

当社はデジタルスチルカメラの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後7年間保有しています。この部品保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください（裏表紙）。

修理をお受けになる前に

内蔵メモリーのバックアップをお取りください。修理によってデータが消去または変更された場合、記録内容の保障についてはご容赦ください。

主な仕様

本体

[システム]
撮像素子：7.20 mm (1/2.5型) カラー CCD原色フィルター
総画素数：約7 410 000画素
カメラ有効画素数：約7 201 000画素
レンズ：カール ツァイス バリオ・テッサー 3倍ズームレンズf=6.33 ～ 19.0 mm（35 mmカメラ換算では38 ～ 114 mm）、F3.5 ～ 4.3
露出制御：自動、シーンセレクション（9モード）
ホワイトバランス：オート、太陽光、曇天、蛍光灯、電球、フラッシュ
記録方式（DCF準拠）：
静止画：Exif Ver. 2.21JPEG準拠、DPOF対応
動画：MPEG1準拠（モノラル）
記録メディア：内蔵メモリー 約56 MB
"メモリースティック デュオ"
フラッシュ：撮影範囲（ISO感度がオートのとき）
0.1 ～ 3.4 m（W）/ 0.25 ～ 2.7 m（T）

[入出力端子]
マルチ接続端子
USB通信：Hi-Speed USB（USB 2.0準拠）

[液晶画面]
液晶パネル：7.5 cm（3.0型）TFT駆動
総ドット数：230 400 （960×240）ドット

[電源・その他]
電源：リチャージャブルバッテリーパックNP-FR1、3.6 V
ACアダプター AC-LS5K（別売）、4.2 V
消費電力（撮影時）：1.2 W
動作温度：0 ～ 40℃
保存温度：－20 ～ +60℃
外形寸法：95.0×56.5×23.4 mm（幅×高さ×奥行き、突起部を除く）
本体質量：約170 g（バッテリー NP-FR1、リストストラップなど含む）
マイクロホン：モノラル
スピーカー：モノラル
Exif Print：対応
PRINT Image Matching III：対応
PictBridge：対応

バッテリーチャージャー BC-CS3
定格入力：AC 100 ～ 240 V、50/60 Hz、3.2 W
定格出力：DC4.2 V、500 mA
動作温度：0 ～ 40℃
保存温度：－20 ～＋60℃
外形寸法：約66×23×91 mm（幅×高さ×奥行き）
本体質量：約70 g

リチャージャブルバッテリーパック NP-FR1
使用電池：リチウムイオン蓄電池
最大電圧：DC 4.2 V
公称電圧：DC 3.6 V
容量：4.4 Wh（1 220 mAh）

本機や付属品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

商標について

- Cyber-shot はソニー株式会社の商標です。
- "Memory Stick"、"メモリースティック"、MEMORY STICK、"Memory Stick PRO"、"メモリースティック PRO"、MEMORY STICK PRO、"Memory Stick Duo"、"メモリースティックデュオ"、MEMORY STICK DUO、"Memory Stick PRO Duo"、"メモリースティックPRO デュオ"、MEMORY STICK PRO DUO、"MagicGate"、"マジックゲート"および MAGICGATE はソニー株式会社の商標です。
- "InfoLITHIUM（インフォリチウム）"はソニー株式会社の商標です。
- Microsoft、Windows、DirectXは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Macintosh、Mac OS、iMac、iBook、PowerBook、Power Mac、eMacはApple Computer, Inc.の登録商標または商標です。
- Intel、MMX、PentiumはIntelCorporationの登録商標または商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には™、®マークは明記していません。

■困ったときは（サポートのご案内）

ホームページで調べる

サイバーショットおよび付属ソフトウェアの最新サポート情報（製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法など）はこちらのホームページから
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

サイバーショットオフィシャルWEBサイト
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/

サイバーショットの最新情報、撮影テクニック、アクセサリーなどに関する情報を掲載しています。英語の取扱説明書のダウンロードもできます。
(English manual download service is available.)

メモリースティック対応表
使用可能な"メモリースティック"を確認できます。
http://www.sony.co.jp/mstaiou/

電話で問い合わせる（おかけ間違いにご注意ください。）

テクニカルインフォメーションセンター

- **ナビダイヤル**..............................0570-00-0066
  （全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます。）
- **携帯電話・PHSでのご利用は**........... 0466-38-0253
  （ナビダイヤルが使用できない場合はこちらをご利用ください。）

受付時間：月～金曜日：午前9時～午後8時
土、日曜日、祝日：午前9時～午後5時
お問い合わせの際は、本機をお手元にご用意ください。

指定宅配便での修理品のお引取り、修理後の製品のお届けまでを一括して行います。テクニカルインフォメーションセンターへお電話いただくか、WEBサイトをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/di-repair/

■カスタマー登録のご案内

カスタマー登録していただくと、安心・便利な各種サポートが受けられます。詳しくは、同梱のチラシ「カスタマー登録のご案内」もしくはご登録WEBサイトをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/di-regi/

登録後は登録者専用お問い合わせ窓口をご利用いただけます。
詳しくは下記のURLをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/contact/

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川6-7-35　http://www.sony.co.jp/

この説明書は100%古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in Japan